

大阪府情報活用能力ステップシートの関連項目

E-STEP2

【つきたい力・ねらい】

○清書をするときの改善点を自ら見つけられる力の育成

【指導の流れ】

- ①毛筆で「歩む」を書く。
- ②作品の写真を撮る。
- ③デジタルの見本と書いたものを重ねる。
- ④見本と比べて振り返りを書き、清書をするときの改善点を見つける。

【コンテンツの活用ポイント】

○デジタルの見本を重ねても、書いた作品の字が見えるように作成することで、改善点が見つけやすくなる。

【教員の関わり】

○作品の写真は、真上から撮るように声をかける。

【子どもの変容】

○「自分の作品」と「デジタルの見本」を重ねることで、比較がしやすくなり、改善点に気がつきやすくなった。

デジタルの見本

ロイロノートで作成
赤字の「歩む」だけを動かす
ことができます。

重ねると…

「自分の書いた字」と「デジタル
の見本」を重ねると、改善点が見
えやすくなります。

月	日	名前
振り返り		
<p>今度、清書するときは←に書いていることを踏まえて、自分で満足できる歩むを書きたいです。特に「歩」は、形が崩れてしまっているので、完璧に書けるようになりたいです。</p> <p>「む」をもう少し左にずらしたほうがいいと思いました。</p> <p>「歩」は、8画目を5画目にくっつけるのいいと分かりました。</p>		